

## 各分野における子育て応援の取組

# 子育て世代が抱える課題を解決する取り組みについて（JR東日本）

【サービス名称】

## ベビカル

【概要】

「もっと気軽にお子さまと外出できる社会を！」をコンセプトに、子育て世代がお子さまと気軽に外出できる社会の創造を目的とし、外出先でも便利に利用でき、予約可能なベビーカーレンタルサービスを2021年4月22日から開始しています。観光や旅行、帰省の際はもちろん、お買い物やランチなど短時間でも気軽にご利用いただけます。

〈WEBサイト〉

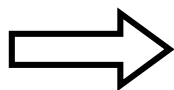
<https://babycal-jre.com>

【ご利用イメージ】

〈ベビカルステーション（有人）の場合〉



①専用WEBサイトで会員登録後  
日時・場所を選択して予約



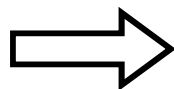
②係員にご予約コードを提示し  
ベビーカーを受け取る



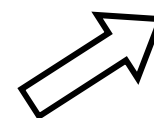
〈ベビカルスタンド（無人）の場合〉



①専用WEBサイトで会員登録後  
日時・場所を選択して予約



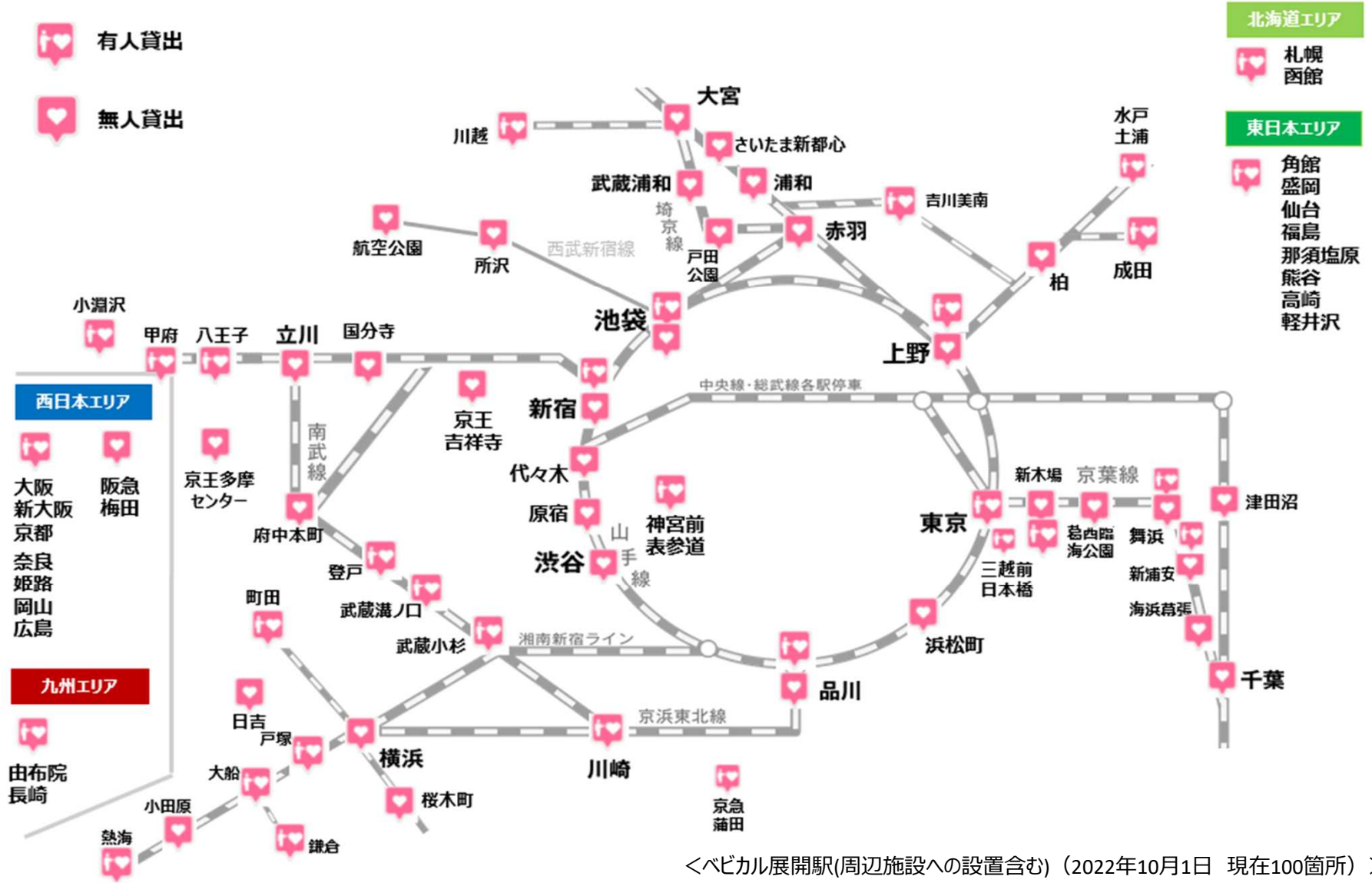
②予約画面のQRコードを、操作  
パネルにかざし、表示灯が点滅  
している場所にあるICキーを引  
き抜いてベビーカーを受け取る



③予約終了時間までに貸出  
場所に返却

# 展開箇所

2021年4月22日にサービス開始した「ベビカル」は、2022年10月1日時点で下記の箇所に展開しています。



<ベビカル展開駅(周辺施設への設置含む) (2022年10月1日 現在100箇所) >

2021年11月4日  
西日本旅客鉄道株式会社  
京 都 府

## 京都府とJR西日本による子育てにやさしい環境づくりに向けた連携開始について

### 1 協定締結日

2021年11月3日（水・祝）

### 2 協定内容

#### （1）タイトル

「子育てにやさしい環境づくりの推進に向けた連携協定」  
～子育て環境日本一・京都の実現に向けて～

#### （2）連携事項

- ・ 社会全体で子育てを見守り支える、あたたかい子育て社会実現に向けた取組み（子育てにやさしい風土づくり、子育てにやさしいまちづくり）に関する事
- ・ その他目的を達成するために必要な事項に関する事

### 3 令和3年度の具体的な連携事業

#### （1）子育て世代の外出・移動支援モデル事業等への協力

##### ① 府内5駅の改札付近に完全個室のベビーケアルーム「mamaro™」の設置

【設置駅】京都駅、長岡京駅、亀岡駅、宇治駅、福知山駅

【設置期間】京都駅 2021年11月4日（木）～2022年3月下旬

その他の駅 同年11月中旬から順次設置～2022年3月下旬

##### ② JR西日本グループの主要施設内店舗のうち、約70店舗の「きょうと子育て応援パスポート」への協賛

【開始日】2021年11月4日（木）

※主要施設

ジェイアール京都伊勢丹、ホテルグランヴィア京都、京都駅ビル専門店街 ザ・キューブ、京都駅前地下街ポルタ、京都劇場和食小路、京都拉麺小路

#### （2）「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の周知

##### ③ 京都府限定の「泣いてもかましまへん！」ポスターを府内各駅に掲出

【掲出期間】2021年11月4日（木）～2022年3月下旬

## 「きょうと子育て応援パスポート」とは

- 「きょうと子育て応援パスポート」は、子育て家庭を社会全体で応援するため、企業・店舗等、京都府、市町村が協働して取り組んでいる事業です。
- 子育て家庭にパスポートを発行し、協賛店舗が様々なサービスを提供することを通して、子育てを応援する取り組みです。
- ステッカーが掲示された協賛店でパスポートを提示すると、各店の独自のサービスを受けることができます。



子育て応援パスポート協賛店舗・施設情報は、きょうと子育て応援パスポートアプリ&ウェブサイト「まもっぷ」から確認できます。

Android 版	iPhone 版	

## 「WE ラブ赤ちゃんプロジェクト」とは

- 公共の場で泣き始めた赤ちゃんを、懸命に泣き止ませようと焦るママの姿をきっかけに始まったプロジェクトです。
- 周囲が「焦らなくても大丈夫」「泣いても気にしませんよ」という受容の気持ちをポスターやステッカー等で可視化することでママ・パパを優しく見守り、子育てにあたたかな風土をつくるもので、発起人はエッセイストの紫原明子さんです。
- エキサイト (株) が運営する、閲覧数の多さを誇るママ向け web サイト「ウーマンエキサイト」がプロデュース (平成 28 年 5 月 5 日～) しています。

京都府子育て環境日本一推進会議

京都府は WE ラブ 赤ちゃんプロジェクト を応援しています

公共の場で泣き出してしまった赤ちゃんを一生懸命あやすママパパたちに「泣いてもいいよ!」と温かく見守る活動をしている「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」

京都府では「子育て環境日本一」の実現に向けてオール京都体制(京都府子育て環境日本一推進会議)でこの活動を広めていきます

泣いてもかましまへん!

京都府は「子育て環境日本一」を目指しています!

京都府限定 『泣いてもかましまへん!』ステッカー配布中!

WEラブ赤ちゃんプロジェクト | Woman.excite

# 民鉄による 「子育て応援」の取り組み



2022年11月24日（木）  
一般社団法人 日本民営鉄道協会

# ①小田急電鉄 「小田急の子育て応援車」運用開始



第21-72号

2022年2月25日

小児IC運賃50円化に続き、鉄道会社ならではの子育て世代応援策に取り組みます！

## 3月12日以降「小田急の子育て応援車」を順次運用開始

～通勤車両の3号車で温かい見守りの呼びかけを実施！おさま連れのお出かけの心配を軽減～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は2022年3月12日（土）のダイヤ変更日から、小さなおさま連れのお客さまに、より安心して小田急線をご利用いただけるよう「小田急の子育て応援車」の運用を順次開始します。

当社では、昨年11月に「子育て応援ポリシー」を策定し、おさまに多くのお出かけをお楽しみいただけるよう、3月12日から小田急線の小児IC運賃を1乗車あたり50円にします。

さらに、ベビーカーなどを抱え、電車の乗り降りにも苦労されているお客さまや、赤ちゃんが突然泣き出したりした際にも、気兼ねなく安心して小田急線をご利用いただきたいという想いから本施策に取り組みます。

小田急が保有する通勤車両（一部を除く）の3号車\*（窓ガラスや乗降扉、貫通扉）に計24枚のステッカーを掲出し、ご乗車の皆さまに、おさま連れのお客さまを温かく見守っていただけるようご協力を呼びかけます。これらのステッカーは、「子育て応援ポリシー」や、親子で一緒に楽しめるお出かけ情報紹介サイト「小田急の子育て応援ナビ～Fun Fanおだきゅう～」のロゴ・デザインをベースに制作しており、親しみやすく、安心してご乗車いただけるよう思いを込めています。

※ 下り方面先頭車両から3両目の車両（車両の側面等に「3」と掲出しています）



通勤車両5000形



窓ガラス、貫通扉ステッカー

当社では、2021年5月に約1か月間、イベント列車として「子育て応援トレイン」を1編成運行し、お客さまからご好評いただいたことを踏まえ、今回の「小田急の子育て応援車」の導入を決定しました。引き続き「子育て応援ポリシー」を具現化する鉄道会社ならではのアプローチにより、「子育てしやすい沿線」を目指してまいります。

「小田急の子育て応援車」の概要は下記のとおりです

1. 導入日 2022年3月12日（土）より順次  
(ステッカーの掲出を完了した列車から運用を開始します)
2. 対象 当社保有の通勤車両（8両編成の一部と4両編成の列車を除く）の3号車のうち、ステッカー掲出を完了した列車  
※ 相互直通運転しているJRと東京メトロの車両は除きます
3. 運用区間 小田急線全線  
※ 相互直通運転しているJRと東京メトロ線内は対象になりません
4. その他 「小田急の子育て応援車」は、どなたでもご利用いただけます。
5. お問い合わせ 小田急お客さまセンター（ガイダンス4番／お問い合わせ・ご案内）  
電話：044-299-8200（9：00～17：00）

以上

### 【参考】

「小田急の子育て応援ナビ～Fun Fanおだきゅう～」

各種イベントをはじめ、親子で一緒に楽しめる小田急沿線お出かけ情報は、このサイトでチェックいただけます。

URL <https://www.odakyu.jp/oyako/>



## ②小田急電鉄 みまもり通知サービスの無料トライアル実施



第22-63号

2022年10月12日

お子さまに、安心して「行ってらっしゃい」と言える、駅からはじめる新サービスの実証延長！  
**「小田急×biblle みまもり通知サービス」街中へエリア拡大・モニター追加募集**  
 ～東京都事業「多摩イノベーションエコシステム促進事業」としてシニア検知の取り組みとの連携も～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、本年5月25日から、小田急多摩線の駅を中心としたお子さまの見守りサービス「小田急×biblle みまもり通知サービス」の無料トライアルを実施しています。2022年11月1日（火）から小田急多摩センター駅周辺の街中での検知機能を強化するとともに、対象モニターを50名追加募集し、2023年2月28日（火）まで検証を継続します。

「小田急×biblle みまもり通知サービス」は、子育て世代の不安を緩和するために、お子さまの行動履歴や位置情報をアプリやメールで確認いただけるもので、駅と周辺に設置した検知器により、モニターである小・中学生へ配付した「専用タグ」で検知するものです。

今般の検知強化の取り組みは、このタグと検知の仕組みを有するジョージ・アンド・ショーン株式会社（代表：井上 憲）によるプロジェクト「見守りタグとICFを活用したシニア/子供の街歩き促進サービス」の一環として実施します。本プロジェクトが東京都事業「多摩イノベーションエコシステム促進事業」のリーディングプロジェクトに選定されたことにより、東京都多摩市の小田急多摩センター駅付近へ検知器を増設することで、駅と街中を組み合わせた見守りの有効性を検証します。

あわせて、10月12日（水）から、当社のサービスプラットフォーム「ONE（オーネ）」会員で小・中学生の保護者の方を新たに50名募り、無償トライアルへご協力いただきます。



オリジナルデザインタグ

**TAMA  
INNOVATION  
ECOSYSTEM**

多摩イノベーションエコシステムロゴ

なお、「見守りタグとICFを活用したシニア/子供の街歩き促進サービス」プロジェクトでは、ジョージ・アンド・ショーン株式会社と京王電鉄株式会社が、タグと検知器で高齢者を見守る取り組みも展開します。両社では、京王多摩センター周辺の商店街などに検知器を設置しており、当社を含めた3社の検知器によって、お子さま・高齢者両方を見守りを実施します。

今後は、小田原線や江ノ島線のほか、グループ施設への検知器導入を検討するほか、ジョージ・アンド・ショーン株式会社主催の企業や自治体と連携した見守り体制拡充プロジェクト「ネイバードプロジェクト」を通じた自治体施設などへの検知器設置の働きかけにより、沿線地域の見守りエリアの拡大を目指してまいります。

「小田急×biblle みまもり通知サービス」のエリア拡大・モニター追加募集によるトライアル延長実施の概要は下記のとおりです。

記

- 1 実施期間 2022年11月1日（火）～2023年2月28日（火）
- 2 実証目的 保護者の皆さまに、外出されるお子さまをより安心してお見送りいただける環境整備を通じて、子育てしやすい沿線づくりを推進するため
- 3 実証方法
  - ・ 小・中学生のお子さまをお持ちの ONE 会員50名を追加募集し、お子さまにオリジナルデザインタグを携帯いただきます
  - ・ 小田急多摩線沿線と、新たに小田急多摩センター駅付近の街中（商業施設）に設置する検知器を通じて、専用アプリ「biblle」とメールでお子さまの位置情報や行動履歴を確認いただけます
  - ・ デジタルデバイスをお持ちの方が多数ご利用になれる駅での検知に関する仕組みの有効性や、メール配信サービスの適切な発信頻度等について、モニターアンケートを通じて検証します
- 4 検知器設置場所
 

【既設】小田急多摩線全8駅（新百合ヶ丘駅、五月台駅、栗平駅、黒川駅、はるひ野駅、小田急永山駅、小田急多摩センター駅、唐木田駅）  
CAFÉ & SPACE L.D.K.（栗平駅前）

【新設】ココリア多摩センター、丘の上プラザ、マグレブ EAST、バルテノン多摩、クロスガーデン多摩など小田急多摩センター駅周辺施設（予定）
- 5 参加方法 本施策の専用サイト、「小田急×biblle みまもり通知サービス」からエントリーを承ります。（10月12日～11月18日 先着50名）  
URL <https://one-odakyu.com/campaign/?id=tamaeco>  
順次発送するオリジナルデザインタグがお手元に届きましたら、アプリをダウンロードの上、ペアリング接続と、専用サイトからメールアドレス登録をしていただきます
- 6 参加費用 無料
- 7 お問い合わせ ONE お問い合わせ窓口  
E-mail [one.info@odakyu-dentetsu.co.jp](mailto:one.info@odakyu-dentetsu.co.jp)

【参考】「多摩イノベーションエコシステム促進事業」について

東京・多摩地域において、イノベーションをおこし続ける好循環（エコシステム）を作ることを目指して、中小企業や大学・研究機関、スタートアップなどの多様なプレイヤーが交流し連携を強める取り組みを展開しています。本施策は多摩イノベーションエコシステム促進事業におけるリーディングプロジェクトに選定されており、ジョージ・アンド・ショーン（株）が主宰者となり、小田急電鉄（株）、京王電鉄（株）（取締役社長：都村 智史）、日本オラルク（株）（取締役執行役社長：三澤 智光）の4社合同にて実施いたします。詳細は下記サイトをご覧ください。  
URL <https://tama-innovation-ecosystem.jp/>

以上



## ③京王電鉄 ベビーカーのレンタルサービス初導入



2022年6月16日  
東日本旅客鉄道株式会社  
京王電鉄株式会社  
株式会社ジェイール東日本企画

### ベビーカーのレンタルサービス「ベビカル」京王電鉄の駅に初導入！ ～7月1日より吉祥寺駅、京王多摩センター駅にてサービス開始～

○東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二/以下「JR 東日本」）、京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：紅村 康/以下「京王電鉄」）および株式会社ジェイール東日本企画（本社：東京都渋谷区/代表取締役社長：赤石 良治/以下「jeki」）は協働して、JR 東日本および jeki が展開する外出先でのベビーカーレンタルサービス「ベビカル」を、7月1日より京王電鉄の吉祥寺駅と京王多摩センター駅の2駅に導入します。

○京王電鉄では、お客さまサービスの向上や、お子さまとお出かけしやすい沿線の街づくりに取り組んでおり、このたびサービスの主旨に賛同し、「ベビカル」を京王電鉄の駅に初めて設置します。今後もさまざまな施策を通して、気軽にお子さまとお出かけができる社会の実現を目指します。

## 1. 概要

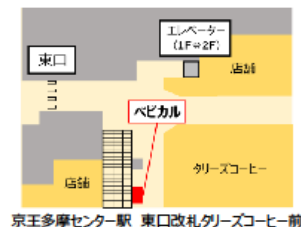
設置場所	■吉祥寺駅 南口1階 階段裏 【ベビカルスタンド（無人）】 ■京王多摩センター駅 東口改札タリーズコーヒー前 【ベビカルスタンド（無人）】
設置台数	各3台
サービス開始日	2022年7月1日（金）（※1）
営業時間	全日9：00～20：00（※2）
事業主体	JRE ベビーカーシェアリング有責任事業組合（構成員：JR 東日本/jeki）
利用料金（税込）	はじめの1時間250円、以降30分ごとに100円 12時間最大1,500円、12時間以降30分ごとに100円（※3）
お客さま問合せ先	0120-619-305（営業時間 8:00～21:00 年中無休）

※1 予約開始は2022年6月18日（土）からとなります。

※2 予告なく休業・変更・休止する場合があります。あらかじめご了承ください。

※3 ベビカルの利用には、専用WEBサイト（<https://babycal-ire.com/>）からの登録が必要です。クレジットカードによるWEB決済になります。会員登録で初回1時間無料クーポン配布中。

## 2. 設置場所



## 3. ベビーカーについて

Combi 施設用ベビーカーSC51  
対象月齢 1カ月～48カ月頃（体重18kg以下）



## 4. ベビカルのご利用方法

【ベビカルスタンド（無人）】



①専用WEBサイトで会員登録したうえで、日時・場所を選択し、予約します。



②予約画面のQRコードを自身のスマホに表し、操作パネルにかざしてください。



③表示灯が点滅している場所にあるICキーを引くとベビーカーが取り出せます。



④お出かけを楽しみましょう。予約終了時間までに貸出場所にご返却ください。

## &lt;参考&gt;

## ■ベビカルについて

「もっと気軽に子供と外出できる社会を！」をコンセプトに、子育て世代が子供と気軽に外出できる社会の実現を目的とした、外出先でも便利に利用できる予約可能なベビーカーのレンタルサービスです。観光や旅行の際はもちろん、お買い物やランチなど短時間でも気軽にご利用いただけます。

・WEBサイト：<https://babycal-ire.com>

・今後のサービス拡大について

- ①引き続き、首都圏ターミナル駅や JR 東日本グループ以外の施設を含む観光・イベント需要が高い場所などを中心に、サービス展開箇所の拡大を進めます。
- ②将来的には JRE ポイントなど既存サービスとも連携し、MaaS サービスとして充実させ、お客さまにとってより使いやすいサービスを検討します。
- ③気軽にお子さまと一緒に外出できる社会を創造し、子育て世代の課題を解決するとともに、ベビーカーレンタルのインフラ化を目指します。

## ■京王電鉄の子育て世代に向けた外出促進に関する取組みについて

京王電鉄では、お子さまとお出かけしやすい沿線づくりの一環として、子育てファミリーを中心にお楽しみいただける施設「京王れーランド」「京王あそびの森 HUGHUG（ハグハグ）」の運営や、期間限定での「こどもいっしょ割 座席指定券」の発売など幅広いサービスを展開しています。今後も沿線のニーズに応え、子育てしやすい環境づくり、お子さまと外出しやすい沿線づくりに取り組みます。

# 「子育て応援スペース」の設置拡大について

## 1 概要

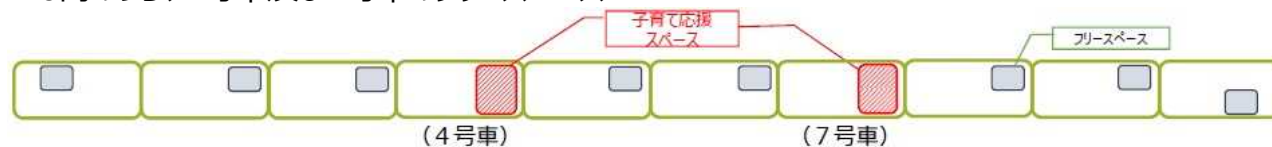
- 小さなお子様連れのお客様にも安心して気兼ねなく電車を利用していただけるよう、令和元年7月から大江戸線において「子育て応援スペース」を設置してきた
- **令和4年8月より、新宿線・浅草線についても**順次運行を開始し、京王電鉄、京浜急行電鉄、京成電鉄、北総鉄道、芝山鉄道の相互直通線内にも乗り入れを実施

- **運行開始日**
  - ・新宿線 令和4年8月30日（火）
  - ・浅草線 令和4年9月9日（金）
- **導入予定編成数**
  - ・新宿線：6編成
  - （令和4年度）
  - ・浅草線：8編成
- **運行状況** 毎日運行 ※交通局HPに運行時刻を掲出

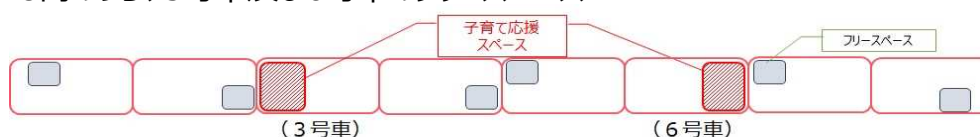
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/subway/schedule/kosodate/index.html>

- **設置場所** 編成内の各車両に設置されているフリースペースのうち、2か所を「子育て応援スペース」として装飾

新宿線：10両のうち、4号車及び7号車のフリースペース



浅草線：8両のうち、3号車及び6号車のフリースペース



小さなお子様連れのお客様専用や優先スペースではなく、**車いす利用のお客様等も含め、誰でも利用可能**

# 「子育て応援スペース」について

## 2 車内装飾例



▲ きかんしゃトーマスとなかまたち

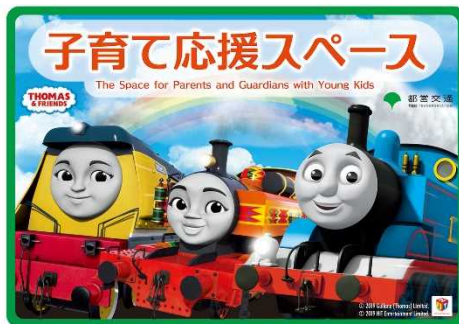


▲ ぐるんぱのようちえん



▲ だるまちゃんシリーズ

## 3 ステッカー・ポスターによる周知 ＜車外ステッカー＞



※子育て応援スペース設置車両の側面に掲示



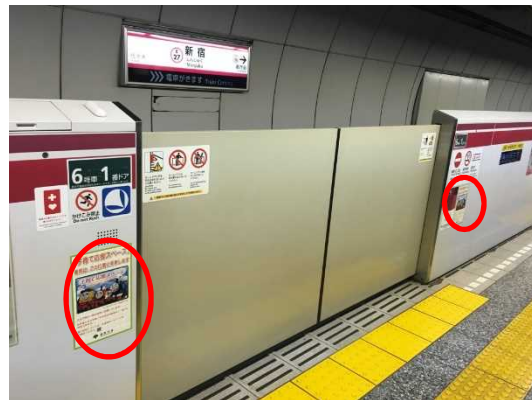
# 「子育て応援スペース」について

## ＜車内ステッカー＞



※子育て応援スペース設置車両の  
車内の窓に掲示

## ＜ホームドア用ステッカー＞



※大江戸線の全駅のホームドアに掲示

## ＜ポスター＞

都営交通  
TOEI TRANSPORTATION

都営地下鉄は、子育て中のお客様を応援しています。

「子育て応援スペース」を  
設置しています!!

「子育て応援スペース」は小さなお子様連れのお客様に安心して気兼ねなく電車を利用していただくためのスペースです。

「子育て応援スペース」設置車両

このステッカーが目印です

大江戸線の全駅のホームドアに、「子育て応援スペース」の停車位置を知らせるステッカーを掲出しています。

運行時刻はこのQRコードを読み取ることで確認いただけます。

フリースペースの設置を進めています!

ベビーカーや車いすご使用のお客様にも利用しやすいように、車両の更新に合わせてフリースペースを整備しています。

ベビーカーマーク  
ベビーカー利用者  
安心して利用できる電車や  
設備を整えています

障害者ための  
国際シンボル  
マーク

大江戸線の  
フリースペース

交通系  
ホームページは  
こちら

※都営地下鉄の各駅に掲出

### 3 お客様から寄せられた主なご意見

- 運行開始以降、様々な声が寄せられており、子どもが騒ぐのではないか、といった意見もあったが、多くは感謝や賛同などの好意的な意見
- デザインについては、小さなお子様がわくわくし、より楽しんで電車に乗っていただけるよう、また、お子様だけでなく、より多くの方に親しんでいただけるよう、多様なデザインの導入についてご意見をいただいた

### 4 今後の対応

- 今年度末までに、三田線でも運行を開始し、都営地下鉄全線への導入を予定
- お客様からの意見を踏まえ、新たなデザインの導入を予定

# 子育てにやさしい移動に関する協議会資料

令和 4 年 1 1 月 2 4 日



公益社団法人 日本バス協会

# 1. バス事業の概要

バスはお子様からお年寄りまで地域の方にとって最も身近な公共交通機関  
1日当たり輸送人員1,242万人(日本の人口の1/10)

## (1) 輸送量

(令和元年度)

乗合	42億5,800万人
貸切	2億7,500万人
計	45億3,300万人

1日当たり1,242万人

## (2) 事業者及び車両 (令和元年度)

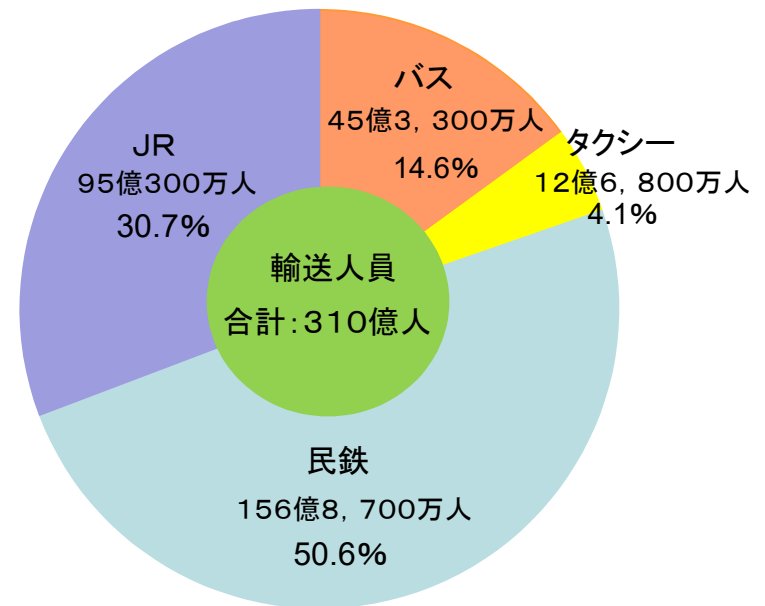
### <事業者>

乗合バス	2,321者
貸切バス	4,004者

### <車両>

乗合バス	61,542両
貸切バス	48,008両

## 陸上交通機関別輸送人員 (令和元年度)



## 2. 児童・学生輸送

子どもたちの成長に合わせ、安全・安心なバス輸送サービスを提供

### (1) 通園・通学

- ・幼稚園バス
- ・スクールバス
- ・路線バス(通学利用)

### (2) 学校行事

- ・修学旅行
- ・校外学習
- ・部活動等

### 参考

#### 【災害時の復旧・復興支援にバスが活躍】

- ・鉄道不通区間でのバスによる代行輸送(通学・通勤に対応)
- ・被災者・ボランティア輸送



### 3. 子育て応援 ①

#### (1) 日本バス協会に子育て応援推進本部を設置

##### 1. 名称

子育て応援推進本部

##### 2. 設置年月日

2018年9月10日

##### 3. 構成員

【本部長】 日本バス協会会長

【本部員】 運営委員会委員

##### 4. 本部の役割

子育てにやさしい社会的機運の醸成に向け、バス事業者として取組む事例等について、情報を共有し必要な対応を進める。

##### 5. 開催日

運営委員会の開催に併せて、必要に応じ開催する。

### 3. 子育て応援 ②

#### (2) 運賃

##### ① 普通運賃(標準約款)

- 幼児: 無料
- 小学生: 大人普通運賃の半額

##### ② 定期券

- 通学定期の割引等

#### (3) 子ども連れの方にも使いやすいバス

##### ノンステップバスの台数

2010年(H22)  
16,534 両



2020年(R2)  
29,489 両

10年間で1.8倍に増加

# 3. 子育て応援 ③

## (4) ベビーカーでのご利用支援

### ① 利用方法の周知

#### 事業者でのPR事例



**このマークのあるバスではベビーカーにお子さまを乗せたままバスをご利用いただけます**

ベビーカーにお子さまを乗せたままバスをご利用の際は、おまご自身で、バスの乗降やベビーカー固定ベルトの取り付けをお願いします。必要場合は乗務員が手伝います。お気軽にお申し付けください。

- ※固定ベルトは補助的なものです。乗車中はベビーカーをしっかり支えてください。
- ※車内乗降時など、ベビーカーを折り畳んでご乗車いただく場合があります。
- ※乗降防止のため、ヤチを必ずお乗降する場所にあります。ご注意ください。
- ※前ドアからの乗降が難しい場合は、乗務員にお申し付けください。

**1** バイク座席のひし掛け形式に、固定ベルトが設置されています。

**2** ベビーカーは後ろ向きにし、乗降をロックしてください。

**3** おまご自身で固定ベルトをベビーカーにつなげてください。

**4** 安全のためにベビーカーをしっかり支えていただきますようお願いいたします。

**▲ご注意**

- ※お申し込みのお客さまがご乗車の際は、お申し込みのお客さまが優先です。
- ※車内のベビーカー固定ベルト設置場所は1箇所です。既にベビーカー固定ベルトが利用されている場合、ベビーカーを折り畳んでご乗降いただく場合があります。
- ※一部のベビーカー（購入時対応のベビーカー等）は、固定ベルトの使用ができない場合があります。
- ※車内乗降時（おまごさまの乗降が難しいとき）は、ベビーカーを折り畳んでご乗降ください。

**車内のお客さまへのお問い合わせ** ベビーカーの補助ベルトが着いている状態に、ベビーカーを固定できていない場合がありますので、ご乗降前にご確認をお願いいたします。

**北陸鉄道グループ**

### ② ベビーカー利用に関する啓発キャンペーン

**ベビーカーからあなたへ、お互いに思いやりの気持ちを。**

**周囲の方へ**

電車やバスでは、ベビーカーは、折りたたみやすく乗降することが大切です。お礼に応じて、お礼状によって、折りたたみ、乗降でお礼状をおまごが持つことができます。

ベビーカー利用者には、温かい気持ちで差し、勇気づけましょう。

エレベーターがない場所での乗り下り、バスの乗降など、手助けを仰いでみましょう。

**ベビーカーをご使用の方へ**

乗降の方との乗降や通行の妨げなど、ベビーカーの操縦には気をつけましょう。

乗降の時、必ず優先してあげましょう。

**混雑時などには、お互いに譲り合って、快適にご利用頂けるよう、ご協力！**

**ベビーマーク**

ベビーマークは、ベビーカー専用、狭いスペースに設置するためのマークです。

**ベビーマーク**

ベビーマーク専用座席は、乗降しやすくなるように設計されています。

**ベビーストップマーク**

ベビーストップマークは、ベビーカーを止めるためのマークです。

**覚えてください**  
ベビーマークのマークは、ベビーマーク専用座席を示すためのマークです。

**譲り合ってください**  
乗降や乗降の際は、「これがおまごの乗降場所です」とおまごに声をかけてください。

**「折りたたませぬ」**  
おまごが乗降する際は、おまごが乗降する際に「折りたたませぬ」とおまごに声をかけてください。

**「優先させてください」**  
おまごが乗降する際は、おまごが乗降する際に「優先させてください」とおまごに声をかけてください。

**「お礼状をお願いします」**  
おまごが乗降する際は、おまごが乗降する際に「お礼状をお願いします」とおまごに声をかけてください。

\*子育てにやさしい移動に関する施設は、おまごが乗降する際に優先してご利用いただけます。

**ベビーカーをご利用の際は、おまご自身で、バスの乗降やベビーカー固定ベルトの取り付けをお願いします。必要場合は乗務員が手伝います。お気軽にお申し付けください。**

ベビーカーにお子さまを乗せたままバスをご利用の際は、おまご自身で、バスの乗降やベビーカー固定ベルトの取り付けをお願いします。必要場合は乗務員が手伝います。お気軽にお申し付けください。

**ベビーカーに子どもを乗せる際にはシートベルトを着用しましょう。**

ベビーカーに子どもを乗せる際にはシートベルトを着用しましょう。

**バス停や車内で止めている時は、ストップマークをしっかりと手もたせておくようにしてください。**

バス停や車内で止めている時は、ストップマークをしっかりと手もたせておくようにしてください。

**車内では固定ベルトを使い通行方向後ろ向きに固定するようにしてください。**

車内では固定ベルトを使い通行方向後ろ向きに固定するようにしてください。

\*子育てにやさしい移動に関する施設は、おまごが乗降する際に優先してご利用いただけます。

\*おまごの乗降が難しい場合は、乗務員にお申し付けください。

\*おまごの乗降が難しい場合は、乗務員にお申し付けください。

\*おまごの乗降が難しい場合は、乗務員にお申し付けください。

\*おまごの乗降が難しい場合は、乗務員にお申し付けください。

### 3. 子育て応援 ④

#### その他の取組み

(5) 妊産婦のバス利用無料化

(6) 企画乗車券の販売

(7) バスの乗り方教室

(8) 子どもを犯罪から守る取組み ~こども110番~

## 4. 広報活動

こども霞が関見学デー

令和4年8月3日(水)・4日(木)開催

観光バスに乗って、霞が関探検



国土交通省の「こども霞が関見学デー」への協力

令和4年11月24日

# タクシー業界の取組状況について

タクシーが つなぐ人の輪 地域の輪



全国ハイヤー・タクシー連合会

## 検討経緯

---

平成28年10月、全タク連正副会長会議において決定した「タクシー業界において今後新たに取り組む事項について」に基づき、これまで全国各地域において、11項目の実現に向け鋭意取組を進め、一定の進捗を見たところである。

今般、既に決定から2年以上が経過したことから、全国の都道府県協会の意見を踏まえつつ、平成31年3月よりライドシェア問題対策特別委員会において11項目の刷新について集中的な検討を行い、本とりまとめの9項目を新たに追加することとしたところである。

今後、全国各地域において、先の11項目と合わせた計20項目について、地域の状況を踏まえ実施していくことが望まれる。

---

1. MaaS への積極的参画	1
2. 自動運転技術の活用方策の検討	2
3. キャッシュレス決済の導入促進	3
4. 子育てを応援するタクシーの普及	4
5. ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）・福祉タクシーの配車体制の構築	5
6. 「運転者職場環境良好度認証」制度の普及促進	6
7. 労働力確保対策の推進	7
8. 大規模災害時における緊急輸送に関する地方自治体との協定等の締結の推進	8
9. タクシー産業の国内外へのアピールの推進	9

---



# 子育てを応援するタクシーの普及

## [概要]

- ・従来から取り組んできた子育てを応援するサービスである「妊婦応援タクシー」及び「育児支援タクシー」の取組を全国津々浦々に普及
- ・利用者の方々の様々な要望を聞きながら、更なる子育て応援サービスの展開を検討
- ・各自治体の子育て中の家庭に配布する子育て支援のための商品券等の対象にタクシーサービスを追加するよう要望
- ・結婚・子育て資金及び教育資金の一括贈与に係る贈与税非課税措置を拡充し、「妊婦応援タクシー」及び「育児支援タクシー」に係る費用を非課税とするよう要望

## [期待出来る効果]

- ・新規需要の取り込み
- ・公共交通機関としての社会貢献により、タクシーが身近な存在であることをPR

## 「全国タクシーガイド」における登録状況

令和4年9月30日現在

妊婦応援タクシー 573社

育児支援タクシー 393社

## 参考

全タク連では、内閣府の「子育て応援コンソーシアム」の動きを受け、平成30年9月、経営委員会内に「子育て応援タクシー推進検討会」を設置し、サービスの展開を検討していくこととしている。



## 【クルマ・社会・パートナーシップ大賞】とは

日本自動車会議所は、「自動車関係団体の総合団体」として、自動車業界で働く550万の人々と自動車ユーザーによるさまざまな貢献に「ありがとう」と感謝を伝え、それぞれの素晴らしい取り組みが世の中に広がっていく一助になればとの思いから、新たに表彰制度「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」を創設し、昨年2月に第1回となる表彰式を開始した。

### 【日本交通株式会社】

・妊婦の方々等が事前登録で簡単に緊急時にタクシーを呼ぶことができる都内初となる サービス「陣痛タクシー」

### 【第一交通産業グループ】

・地域での公共交通機関による社会貢献として、外出時の乗合・ママサポート・お墓参りサポート等の「おでかけサポート事業」の取り組み



「陣痛タクシー」事業でモビリティ・ソリューション賞を受賞した日本交通の川鍋会長(中央)

日本自動車会議所が創立75周年を記念して創設した「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」(日刊自動車新聞共済)の表彰式が2月7日、東京都港区の芝パークホテル

で開かれた。この賞は自動車業界での事業、取り組みに対し感謝の意を表し、表彰を通じ認知を広げることと同様な取り組みの拡大を目指すもの。妊婦が事前登録するこ

とで、簡単にタクシーを呼ぶことができる都内初のサービス「陣痛タクシー」事業でモビリティ・ソリューション賞を受賞した日本交通(東京)は、川鍋一朗会長が表彰状を受け取り、「この賞はタクシー産業の30万人が一緒にもらった賞だと思っ

ている。今後もドアツードアの公共交通としてみなさまの生活を支えていく」とあいさつした。

陣痛タクシーは2012年にスタートし、現在は都内の妊婦の2人に1人が登録。昨年11月には累計配車件数が10万件を突破している。

タクシー関係は、第一交通産業が「おでかけサポート事業」で特別賞を受賞。アサヒタクシー(広島)の「グリス口潮待ちタクシー」と東タク協の「防災レポーター制度」などの取り組みがケッドパートナーシップ事業に選出された。大賞は茨城県境町の「地域住民の手でなした国内初の自動運転バスの社会実装に向けた諸活動」だった。

出典：東京交通新聞社

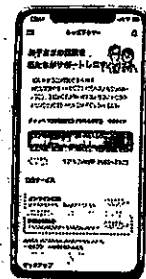
## 日交、第一交通2社受賞 日本自動車会議所から社会貢献で

第一交通産業

# 子どもの夜間救急 タク配車を支援

健康相談アプリ「キッズドクター」と提携

第一交通産業グループ  
(北九州市、田中亮二社長)  
は5月23日、子どもの健康



**キッズドクター** 育児のそばに、寄り添う医療を

全国各地でタクシー会社との連携が進む「キッズドクター」。福岡市では「ママサポートタクシー」を運行する第一交通産業グループと連携した

し、福岡市内に住むアプリユーザーに向けて夜間の救急病院までのタクシ配車を支援するサービスを始めました。現在は現在、全国各地

でタクシー会社との連携を強化しており、今回の提携もその一環。

キッズドクターは、子どもの健康について医師や看護師に気軽に相談できるオンラインサービス。平日夜間など病院が開いていない時間帯の看護師による「チャット健康相談」やスマホで医師の診察が受けられる「オンライン診療」、自宅に医師が来てくれる「往診」予約支援サービスなどがある。

「キッズドクター」による、チャット健康相談の利用者から「夜の時間帯に救急病院までの交通手段がない」といった声があり、現在各

出典：東京交通新聞社

地域のタクシー会社との連携強化を図っているという。

その連携強化の一環として福岡市では助産師からの研修を受けたドライバーが対応する「ママサポートタクシー」を運行する第一交通産業グループと連携。チャット相談を通じて自宅近くの時間外対応の病院を紹介するだけでなく、必要に応じて病院までのタクシ配車の支援を受けられる。

約100市町村で実施

## 「子どもサポートタク」 沖縄にサービス拡大

第一交通産業

第一交通産業グループ  
(北九州市、田中亮二社長)  
は20日、北九州や福岡



「子どもサポートタク」の案内チラシ。電話やFAX以外にWEBでの登録も受け付けている

那覇市、浦添市にも「子育てシッター養成講座」を拡大し、座を拡充した。沖縄が担当し、保護者への送迎完了連絡を行う。

用途は養育小学校、習い事などのみの利用で、忙しい保護者に代わって24時間365日対応。通常運賃で利用でき、登録は無料。

用途は養育小学校、習い事などのみの利用で、忙しい保護者に代わって24時間365日対応。通常運賃で利用でき、登録は無料。

広島、大阪など16道府県22エリアで実施している7〜12歳までの小学生を対象とした「子どもサポートタク」サービスを沖縄県那

「OKICA(オキカ)」での支払もできる。

同サービスは2016年4月に北九州でスタート。

約40市町村で実施

出典：東京交通新聞社

# 子育てにやさしい移動に 関する協議会

---

2022年11月24日

認定NPO法人びーのびーの

白石智子



# (社)全国子育てタクシー協会

事務局を認定NPO法人びーのびーのが担っています

➤子育て支援団体と、タクシー会社で協働し、**子育てにやさしい運転手を養成**する独自カリキュラムによる研修を実施

## 養成講座内容

- 1.子育てタクシー協会についての説明と現状
- 2.子育てタクシーに必要な知識
- 3.子育て支援の現状と課題
- 4.子育て家庭のニーズ
- 5.子どもの安全・救命救急について
- 6.子育てママ体験講座（グループワーク含む）
- 7.保育実習
- 8.チャイルドシート装着訓練

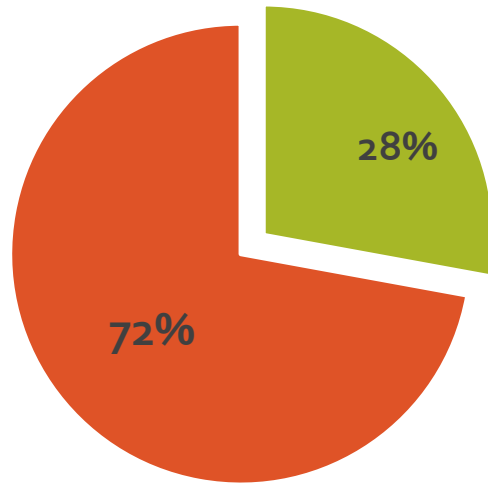


➤全国で現在1700名ほどが協会独自の認定資格「子育てタクシードライバー」を取得

# Q. 子育て支援、妊産婦事業を実施していますか？

(回答数 203 / 回答率 39%)

5万人以上の基礎自治体520自治体に、子育て家庭の移動支援にタクシーを活用できる事業・施策があるのかを調査



■ 実施していた ■ 実施していない

## 実施している自治体の事例

- ・ハイリスク妊婦への支援
- ・多胎児の1歳までの支援
- ・子育て全体のクーポンをタクシーでも活用できる支援
- ・電子マネーカードでタクシー利用
- ・コロナ対策×多胎児支援で、スイカ支給
- ・放課後学童クラブの送迎をデマンドタクシーを利用する支援事業
- ・民間放課後学童クラブが学校外にある場合の移動を担うタクシー会社へ補助金
- ・病児保育送迎支援

# ご提案 . . .

## (1) 子育て関連クーポンの利用者補助事業にタクシー利用を含めること

子育て家庭がタクシーを利用しやすくなる利用者向けの補助事業があればよい。妊産婦健診、乳幼児健診、出産、産後のタクシー利用に対する利用者への補助、多胎児への移動支援に使えるバウチャーなどがあればよい

## (2) サービスに関する研修費用の助成

自治体や県市のタクシー協会等を通じて、広くタクシー会社向けに、研修費用の助成やチャイルドシートの購入補助等、事業参入にあたっての助成があれば導入しやすくなるとおもう



# 認定NPO法人びーのびーの 産前産後に過ごす居場所 試行実施の取り組み



- 産前産後期を取り巻く「家族」の多様化に対応
- 出産期の「医療」から産後に生活する「地域」への転換モデルを作る
- 産前産後の居場所として、専門職だけでなく、地域の力を加えた**新しい取り組みを行う**
- 地域での子育てを「**ファミリーミニステイ**」として家族で体験してもらう
- 産前から地域と関わることができる実体験をする



# 制度、サービスをつなぐ 移動支援



多胎児、きょうだい児、乳児期  
子育て家庭の孤立の予防  
に外出のきっかけを！

認定NPO法人  
びーのびーの

民家一戸建て活用タイプ

病院・産院隣接タイプ

子育て拠点タイプ

出産予定日：7・8・9・10月の方  
\*港北区にお住まいの方  
\*トライアルに参加し、アンケート・ヒアリングにこたえられる方

## 産前産後のおへや利用 モニター募集

**無料**

産前産後の方が、どなたでも使っていただける施設の検討をしています。

送迎あり

ご協力いただける方は  
こちらにお申し込みください



認定NPO法人びーのびーの  
045-540-7422

\*\*\*休眠預金等活用事業利用\*\*\*

●産前産後施設で何ができるの？●

- \*日帰り施設です\*
- ✓子どもを預けてお風呂が使える
- ✓栄養満点のご飯が食べられる
- ✓産前産後のプログラムに参加できる
- ✓先輩家庭の話を聞くことができる
- ✓ご家族も一緒に使っていただける